



# 目次

## 第九章 工学部

### 第一節 沿革

一 名古屋帝国大学理工学部の開設

二 新制名古屋大学工学部の発足

三 大学紛争と工学部

### 第二節 組織・施設等

一 組織

二 施設配置

### 第三節 工学部長・教職員および学生

一 歴代工学部長

二 教職員

三 卒業生等	一九
--------	----

第四節 教育・研究	三
-----------	---

一 教科・科目	三
---------	---

二 各学科および講座の教育・研究などの変遷	三九
-----------------------	----

第五節 外郭団体等	一〇
-----------	----

一 名古屋大学工学部同窓会	一〇
---------------	----

二 財団法人 名古屋産業科学研究所	二〇
-------------------	----

## 第一〇章 農学部

第一節 沿革	二五
--------	----

第二節 組織	二七
--------	----

第三節 教職員・学生	三三
------------	----

第四節 教育活動	三三
----------	----

一 農学科のカリキュラム	一四四
二 林学科のカリキュラム	一四六
三 畜産学科のカリキュラム	一四九
四 農芸化学科のカリキュラム	一五二
五 林産学科のカリキュラム	一五四
六 食品工業化学科のカリキュラム	一五七
七 大学院のカリキュラム	一五七
<b>第五節 研究活動</b>	<b>一六</b>
一 農学科	一六九
二 林学科	一七五
三 畜産学科	一七九
四 農芸化学科	一八六
五 林産学科	一九〇
六 食品工業化学科	一九四
七 生化学制御研究施設	二〇一
八 附属農場	二〇三
九 附属演習林	二〇五
一〇 山地畜産実験実習施設	二〇六

# 第一章 教養部

## 第一節 分校時代……………三二

- 一 一般教育の発足とその教育理念……………三二
- 二 分校の統合と一般教育の展開……………三五
- 三 教養部の自立にむけて……………三四

## 第二節 第一次学生数急増時代……………三五

- 一 東山地区への集結……………三五
- 二 教養部の矛盾と教養学部構想……………三六〇
- 三 学生数の急激な増加と深まる矛盾……………二六五
- 四 名古屋大学紛争時の教養部……………二七九

## 第三節 改革への始動……………二九六

- 一 一般教育の改善……………二九六
- 二 管理・運営面での改革……………三三二
- 三 両センターの分離・独立……………三三六
- 四 教養部改革構想とその進展……………三三九

第四節 新構想に向けて……………三三〇

一 五十九年度カリキュラムの実施……………三三〇

二 教養部改革構想……………三三四

第一二章 環境医学研究所

第一節 沿革……………三四五

一 航空医学研究所の創設……………三四五

二 終戦と研究所の改組……………三四六

三 環境医学研究所の設立……………三四九

第二節 研究体制と管理・運営……………三五三

一 環境医学研究所設立当初の研究体制……………三五二

二 管理・運営機構の整備……………三五四

三 部門体制への変革……………三五八

四 部門体制の確立……………三六二

五 研究所将来構想および機構改革……………三六七

六	研究所の見直し第二波と現況	三七一
七	所内各種委員会	三七三
	<b>第三節 施設・設備</b>	三七六
一	環境医学研究所設立初期の施設・設備	三七六
二	研究施設・設備の充実	三七八
三	南館の新設と現況	三六一
	<b>第四節 研究活動</b>	三八三
一	経常研究の変遷	三八三
二	プロジェクト研究	三八六
三	研究所における宇宙医学研究の動向	三八八
四	文部省科学研究費補助金	三八九
五	研究集会	三九〇
六	国際交流	三九一
七	刊行・出版物	三九二
	<b>第五節 教職員・研究生・大学院生</b>	三九五
一	教職員	三九五

二 研究生・大学院生 ..... 四〇〇

## 第一三章 空電研究所

第一節 沿革 ..... 四〇五

一 創設にいたる経緯 ..... 四〇五

二 創設の時代 ..... 四〇七

三 研究所の発展と国際共同観測事業 ..... 四〇八

四 研究所改組への動き ..... 四一〇

第二節 組織・機構・施設 ..... 四二三

一 組織と運営 ..... 四二三

二 土地と建物 ..... 四二三

三 附属研究施設 ..... 四二六

第三節 教職員・学生 ..... 四三〇

一 主要人事 ..... 四三〇

二 教職員数の動向 ..... 四三三



三 学 生 .....	四 五
-------------	-----

第四節 教育・研究活動 .....	四 六
-------------------	-----

一 教 育 .....	四 六
-------------	-----

二 研究報告出版 .....	四 六
----------------	-----

三 研究活動 .....	四 七
--------------	-----

第五節 歴代研究所長と主な出来事 .....	四 八
------------------------	-----

一 昭和二十四～三十九年 .....	四 八
--------------------	-----

二 昭和四十～四十九年 .....	四 五 〇
-------------------	-------

三 昭和五十年～現在 .....	四 五 三
------------------	-------

## 第一四章 水圏科学研究所

第一節 沿 革 .....	四 五 七
---------------	-------

一 施設創設にいたるまでの経過 .....	四 五 七
-----------------------	-------

二 施設の発展 .....	四 五 八
---------------	-------

三	研究所創立への途	四九
四	研究所の創設	四六〇
第二節	組織・機構・施設	四六一
一	研究・教育組織	四六一
二	機構	四六一
三	事務組織	四六四
四	施設	四六四
第三節	教職員	四六七
一	教官	四六七
二	職員	四七〇
第四節	教育・研究活動	四七二
一	大学院教育	四七二
二	部門等の研究活動	四七五
三	研究所シンポジウム	五〇二
第五節	歴代研究所長と主な出来事	五〇九

# 第一五章 プラズマ研究所

第一節 創設の経緯……………五三

第二節 運営機構と研究組織……………五八

一 運営機構……………五八

二 研究組織……………五三

第三節 教職員・院生……………五四

第四節 研究・教育活動……………五二

一 研究の進展……………五二

二 センターの活動……………五〇

三 大学院教育……………五六

第五節 共同研究・国際交流……………五六

一 共同研究……………五六

二 国際交流……………五三

第六節 研究所の移転・改組……………五六

第七節 予算・建物……………五三

## 第一六章 附属図書館

第一節 前史……………五七

一 萌芽時代……………五七

二 公立医学所・公立医学校時代……………五八

三 愛知医学校時代……………五〇

四 愛知県立医学専門学校時代……………五一

五 愛知医科大学時代……………五四

六 名古屋医科大学時代……………五六

第二節 名古屋帝国大学（鶴舞）時代……………五〇

一 管理運営機構……………五一

二 図書館施設……………五九六

三 図書館活動……………五九九

四 对外活動……………六〇四

五 職員動向	六〇五
--------	-----

第三節 新制大学（名古屋城）時代	六〇六
------------------	-----

一 管理運営機構	六〇六
----------	-----

二 図書館施設	六〇四
---------	-----

三 図書館活動	六二七
---------	-----

四 職員動向	六四四
--------	-----

第四節 東山時代	六二六
----------	-----

## 目次

一 古川図書館時代	六二六
-----------	-----

二 グリーンベルト時代	六四〇
-------------	-----

## 第一七章 アイソトープ総合センター

第一節 総合センター開設までの歴史	六五五
-------------------	-----

第二節 総合センターの設置	六五七
---------------	-----

第三節 教官組織の整備	六六一
-------------	-----

第四節	タンデトロン加速器質量計の設置	六三
第五節	センター施設の整備	六五
第六節	センターの活動	六八
第七節	おわりに	七一
 第一八章 化学測定機器センター  		
第一節	沿 革	六五
第二節	組織・運営	六七
第三節	施設・設備	六七
第四節	業務・研究	六七

# 第十九章 情報処理教育センター

## 第一節 概要……………六八三

一 はじめに……………六八三

二 沿革……………六八三

## 第二節 組織・運営……………六八五

一 組織……………六八五

二 運営……………六八六

### 目次

## 第三節 施設・設備の変遷……………六八七

## 第四節 出版物……………六九〇

## 第五節 教育・研究……………六九一

一 教育……………六九一

二 研究……………六九四

## 第二〇章 省資源エネルギー研究センター

第一節 沿革……………六九七

第二節 組織と運営……………六九九

第三節 教育・研究活動……………七〇〇

一 有機廃液および無機廃液の処理に関する教育・研究……………七〇〇

二 省エネルギー技術による資源の回収および環境保全に関する教育・研究……………七〇三

第四節 対外活動……………七〇六

## 第二十一章 遺伝子実験施設

第一節 沿革……………七二二

第二節 教育・研究……………七三三



## 第二三章 先端技術共同研究センター

第一節 創設の経緯……………七七

第二節 組織および施設……………七九

第三節 共同研究課題および専門委員会……………七二

## 第二三章 大型計算機センター

目次

第一節 沿革……………七五

一 設立経緯……………七五

二 創設準備および発足……………七六

三 現在までの主な出来事……………七七

第二節 組織および職員等……………七九

一 組織および職員……………七九

二 運営経費……………七二

第三節 計算機システムと利用状況	七三
一 利用形態	七三
二 図形および画像処理	七五
三 ネットワーク	七六
四 プログラム・ライブラリーおよびデータベース	七七
第四節 研究活動および将来への課題	七六
第二四章 総合保健体育科学センター	
第一節 センター設立までの歴史	七二
一 はじめに	七二
二 保健管理体制の進展	七三
三 教養部保健体育科の歴史	七四
第二節 センター設立	七四
一 センターの設立経過	七六

二	その後の経過	七五
三	現在の問題点および今後の展望	七五
	第三節 教育・研究の発展	七五
一	教育	七五
二	研究	七五
	第四節 業務および事業	七五
一	保健管理業務	七五
二	保健体育指導に関する事業	七六
	第二十五章 総合言語センター	
	第一節 沿革	七二
	第二節 組織・機構・施設	七六
一	組織と機構	七六
二	施設	七七

第三節 教職員・学生 ..... 七〇

一 教職員 ..... 七〇

二 学生 ..... 七五

第四節 教育・研究 ..... 七六

一 教育 ..... 七六

二 研究 ..... 七九

第五節 歴代センター長と主な出来事 ..... 七五

## 第二十六章 医療技術短期大学部

第一節 創設 ..... 八〇

一 創設にいたる経緯 ..... 八〇

二 沿革および歴代主事 ..... 八三

三 短期大学部教官の学長選挙権 ..... 八三

第二節 組織・機構・施設 ..... 八五

第三節 教職員・学生 ..... 八〇

第四節 教育・研究活動 ..... 八三

一 教 育 ..... 八三

二 研究活動 ..... 八五

編集後記

